



代表取締役社長 岡崎 俊城

2005年6月22日開催の定時株主総会および取締役会において、岡崎俊城が代表取締役社長に就任いたしました。

Q:まず、就任に際してのお気持ちをお聞かせください。

A:『幸せづくりのパートナー』の企業理念や、「事業品質」「CSR*」を重視した経営方針などは、JALUXグループ(以下、JALUX)がこれまでに培ってきた風土であり文化であると思います。

これらの基本姿勢をあらためて認識するとともに、強い意志をもってその責任を遂行してまいりたいと思っています。

※ CSR=企業の社会的責任

Q:経営戦略について何か変わりはありますか？

A:基本は変わりませんが、2004年に掲げた、「20%成長*」の目標を、より確実に達成し継続していくためには、中期経営計画における諸施策の実行へ向けてのスピードをさらに上げて、迅速かつダイナミックに推進していかなければならないと考えています。

財務基盤は健全な状態にあり、目標を達成するための体力は十分に蓄えられていると言えるでしょう。

※ 2004年3月期の経常利益19億円を起点とした中期平均成長率

Q:当面はどのようなことが考えられますか？

A:例えば、事業や組織の効率性の向上などがあげられると思います。各事業の収益性や今後の予測などを検証し、機を逃さずに新たな手を打っていくことが、成長角度の維持・向上のためには必要だと思います。

また、有効な投資を促進していくことも必要でしょう。

Q:投資についての方針は？

A:投資対象の競争力や成長性はもちろんのことですが、特に、当社の事業との相乗効果が高く見込めるか、また、いかに新たなノウハウを得られるか、などを基準に有効性を判断し、M&A*も含めた積極的に取り組みにより、早期に成果につなげていきたいと思っています。

※ M&A=企業の合併・買収

Q:JALUXの強みはどのような点にあると捉えていますか？

A:航空分野などにおける専門ノウハウや安定的な顧客基盤、また、企業としてのブランド力などが、独自の強みではないでしょうか。

Q:専門ノウハウとは具体的にはどのようなものでしょうか？

A:当社は、航空分野を基盤に、1962年の創立以来、航空や空港にかかわる事業の拡充をはかってまいりました。例えば、



航空機のエンジン部品から機内の備品にいたるまで、これらの分野における知識や経験は、他には負けないJALUX特有の競争力だと思います。

Q:顧客基盤は具体的には？

A:顧客は、企業と一般消費者に分かれますが、一般消費者を対象とする事業では、例えば、約6,000万人*のJALグループのお客様は安定的顧客基盤のひとつです。

ご旅行をきっかけに、初めて当社の店舗や通販などをご利用された方も多いのではないでしょうか。

※ 年間延べ旅客数

Q:ブランド力についてはどのようにお考えですか？

A:「品質競争力」、すなわち、商品やサービスの品質のみならず、経営や社員の資質なども含む「事業品質」がその源だと思います。

JALブランドのみに依存することなく、JALUXとしての「事業品質」や「顧客満足度」を維持・向上し、お客様、株主・投資家の皆様など、社会からの信頼を積み重ねていくことが、中長期的なブランド力につながっていくものと確信しています。

Q:JALグループにおけるJALUXの位置付けは？

A:JALグループは航空運送を中心に、旅行やホテルなどの関連事業を行っていますが、当社はその中において「お客様へ向けての生活提案」を行う、新しい形の商社と申し上げてよろしいかと思います。

このポジションにおいてグループの資源を有効に活用できることは、事業の成長のために有効にはたらいていると思います。

Q:利益還元についてはどのようにお考えですか？

A:企業価値の向上を目指し、株主の皆様への適切な還元をはかっていくことは、独立した上場企業としての重要な責務であると認識しています。

Q:具体的な方針は？

A:配当金につきましては、安定的かつ継続的であることを基本とし、中長期的には、配当性向*を勘案しながら、利益水準の向上にともなう還元の実現を目指してまいります。

また、株主優待制度も、特に個人株主の皆様からご好評をいただいております。引き続き内容の充実を検討していきたいと思っています。

※ 配当性向=当期純利益に対する配当金の割合

Q:最後に、株主・投資家の皆様へメッセージをお願いします。

A:先般発表の中期経営計画において、2008年3月期の経常利益目標を40億円と決めました。

その目標の確実な実現へ向けて、全社一丸となって邁進してまいりますので、引き続き、皆様からのあたたかいご支援をいただければ幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

岡崎俊城
(おかざき としき)

日本航空機*常務取締役、日本アジア航空代表取締役社長、(株)ジャルセールス代表取締役社長等を経て、2005年4月に(株)JALUX顧問、同6月に代表取締役社長に就任。

※ 現 株式会社日本航空インターナショナル

